

第二回 適性検査型入試 検査Ⅰ 解答・解説

〔問題1 解答〕

反ムルスィーの人たちがムルスィー大統領に対して辞任を求めて行った路上抗議行動や署名活動。(四四字)

解説

設問文の指示通り、「弱い人間」、「権力者」をそれぞれ明確にしたものを正解とみなす。

傍線部の表現に該当する箇所を資料2から探す。資料2は、独裁的なムバーラク政権を倒し、大統領に選出されたムルスィー大統領が結局、独裁的になってしまったため、人々が再びデモなどを起こした結果、ムルスィー政権を倒した内容となっている。そのため、設問条件の「弱い人間」は「反ムルスィー派の人たち」、「権力者」とは「ムルスィー大統領」だということが分かる。また、具体的な行動として「大統領に辞任を求める路上抗議行動や署名」だということが読み取れる。以上のキーワードを用いて、制限字数以内で解答を作成する。

〔問題2 解答〕

(法(権利)は)多数の人間たちの意見の一致と協力を持続化させるとともに、再び暴力が使われたとしても平和的に解決する可能性を高める(ために必要だから)。(五六字)

解説

傍線部の「間接民主主義」とは、国民(住民)が、自分が選んだ代表者を通じて間接的に政治に参加する考え方のことである。そのため、政治が行われる議会には、代表者を通じて多くの国民の意見が集まる。ここから解答例の資料1にある「多数の人間たちの意見」という言葉が導き出される(a)。さらに資料1にて「暴力の支配から新しい法(権利)の支配へ移る」ためには「多数の人間たちの意見の一致と協力」が安定し長く続かなくてはならない、とある。ここにおいて、「法による支配」のためには「多数の人間たちの意見」の一致と協力が持続的である必要性が述べられている(b)。その上、最終段落にて「法によって支配される」社会において利害の対立により暴力が発生したとしても、「共同生活を営んでいる以上」つまり、共同体で居続けるために、「平和的な解決が実現する可能性が高くなる」とある(c)。以上、a、b、cを用いて、解答を作成する。

〔問題3 解答例〕

資料1は「暴力による支配」ではなく「法による支配」へ変化するには多くの人の団結が必要だと述べている。資料2は、エジプトでの革命の後のクーデタを例とし、民主化を実現させる難しさについて述べている。

私が考えるリーダーシップとは、みんなが自分の意見を言いやすいようにすることである。なぜなら、たくさんの方の意見を比べた方がそうしない時よりも良いアイデアが出るからだからだ。また、意見を出し合っていると自分でも思ってもみなかつた意見が思い浮かぶこともあるからだ。

中学校生活では、クラスの話し合いの時や班活動の時にリーダーシップを活かしていきたい。例えば、クラスの話し合いを始める前に「良いアイデアをみんなで作りたいと思っています。だから、どんな意見でも良いからまずは発表してください。どんな意見が出て否定するのはやめてください。意見が出にくくなるからです。」とみんなに伝える。これは、今の担任の先生が四月に話してくれたことだ。このおかげで五年生の時よりもたくさんの方の意見が出て、とても良いクラスになっている。しかし、時々、他の人の意見をからかう子がいる。そうすると先生は優しく、しかし、しっかりとその子に注意をする。中学校生活で同じことがあったら、私も優しくしっかりと注意したいと思う。こうすることでみんなが意見を発表しやすいうようにして、良いクラスを作っていきたい。

解答のポイント

① 資料1・資料2から要点を抜き出し、字数制限内に要約できている。

② 資料1・資料2の要点をふまえ、考えるリーダーシップとそれを活かす場面を具体的に書くことができている。

解説

第一段落では、資料1、資料2のまとめを書く。資料1は「法による支配」を求めると、その必須条件として人々の団結がある、ことを指摘していれば

良い。資料2は、ムバラク政権を打倒した革命と、その後のムルスイー政権を交代させたクーデタの根本には、国民の意見を反映させる民主化を求める動きがあったこと、また、クーデタの際に軍の力が不可欠であったことから民主化を実現させるには軍の力を使わなければならないという難しさをまとめる。

第二段落で述べるリーダーシップであるが、その形についてはさまざまである。いずれにせよ、グループがより良くなるように働きかけることを、その理由とともに書き表す。第三段落では、前段落で述べたリーダーシップの中学校生活での活かし方を具体的に表現する。